

しんあい

季刊



社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。
<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をリニューアルしました。ぜひご
覧下さい！

2013年(平成25年) 2月10日発行 第85号 ◆編集と発行 しんあい編集部



初めてのお正月を迎えました。
明けましておめでとうございます（しらとり）

- | | |
|--|---|
| <p>泉苑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム信愛泉苑 ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター <p>緑苑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム信愛寮 ・特別養護老人ホーム信愛緑苑 <p>あさひ苑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑 ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター | <p>神田事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかんだ連雀 ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ <p>児童福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センターしらとり ・母子生活支援施設白鳥寮 ・母子生活支援施設網代ホームきずな ・府中市子ども家庭支援センターたち |
|--|---|

- ・新・介護保険を考える5
- ・スウェーデン視察研修報告
- ・岩本町ほほえみプラザ
新規事業
- ・施設だより
「新しい年を迎えて」



新・介護保険 を考える 5

一居宅介護支援事業の 介護報酬の変化一

理事長 鈴木 恂子



居宅介護支援事業はいわゆるケアマネジャー（居宅介護支援専門員）の仕事です。要介護度に基づきケアプラン（個別援助計画）をたて、ケアプランにそってサービスを利用することになります。ケアマネジャーは利用者の要望をきき、専門職としてのケアプランを提案し、同意を得て決定します。そしてサービス提供事業所を紹介し、その際には、どのような目標の下でどのようなサービスを提供してほしいか、といったプランを事業所に提示します。サービス利用開始後も月一回ケアプランが適正だったのか、サービスは適切に提供されているのかチェックすること、また利用者に変化があったり、介護度が変わったり、要望があった場合には、関係する事業所・機関によびかけ、利用者（家族）を交えてサービス担当者会議を開き、ケアプランの変更をすることなどが、義務付けられています。

ケアプランの条件は、①利用者本人の希望・要望や家族の要望、②要介護度（利用できる給付上限額が決定、内1割は利用者負担＝利用料）、③地域にあるサービスの種類や量、④経済力（利用料は1割ですが、月額1万円以上になるとサービス利用を抑制する場合も少なくないようです。一方上限額を超えた全額自己負担となる「オーバープラン」を望む利用者もいます）、⑤給付の適正化（介護保険給付の対象になるサービスか否か、また家族の状況など要件が細かく定められています。そして何より自立支援のプランか否かが重要になります）。

	平成12年度施行（第1期） 2000年4月1日～2003年3月31日	平成15年度改定（第2期） 2003年4月1日～2005年9月30日	平成18年度改定（第3期） 2006年4月1日～2009年3月31日
内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の要となる新たな専門職としてケアマネジャーが誕生しました。 一人のケアマネジャー担当上限50件。 加算は離島、豪雪等の地域に所在する事業所に対する加算のみでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1期は要支援・軽介護・重介護に区分されていた報酬が、介護度別ではなく、ケアマネジャーの業務を左右するのはケアプランの内容ということでサービスの種類で報酬が区分されました。 	<ul style="list-style-type: none"> 保険財源の安定化、持続可能な制度を目標に給付の適正化が強化されました。 要支援は二段階になり、予防給付として介護給付と区分されました。 地域包括支援センターが誕生。 地域密着型サービス新設。 主任介護支援専門員新設。
基本報酬	要介護3～5【840】	要介護5～要支援	40件未満 I2【1,300】
	3～5		サービス4種類以上【950】
	要介護1～2【720】		サービス4種類まで【850】
	1～2		40件以上60件未満 II 2【780】
要支援【650】		60件以上 III 2【520】	
		40件未満 I 1【1,000】	
		40件以上60件未満 II 1【600】	
		60件以上 III 1【400】	
		経過的要介護【850】	
		介護予防支援【400】	
居宅介護支援加算及び減算（内単位数）	特別地域居宅介護支援加算【15%加算】		
			特定事業所加算【500】
			初回加算 I【250】
			初回加算 II【600】
			運営基準減算【×70%】
			運営基準減算 I【×70%】
			運営基準減算 II【×50%】
			特定事業所集中減算【-200】

	平成21年度改定（第4期） 2009年4月1日～2012年3月31日	平成24年度改定（第5期） 2012年4月1日～
内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の職員体制や地域の連携などを加算して評価する一方、それに伴う要件が強化されました。ケアプランの内容に対する加算など、細分化が進みました。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期に退院する利用者が在宅に多くなり、医療との連携がさらに内容別に評価されるようになりました。 ケアマネジャーの医療知識を深める研修が実施されました。
基本報酬	40件未満 I2【1,300】	40件未満 I2【1,300】
	40件以上60件未満 II 2【650】	40件以上60件未満 II 2【650】
	60件以上 III 2【390】	60件以上 III 2【390】
	40件未満 I 1【1,000】	40件未満 I 1【1,000】
	40件以上60件未満 II 1【500】	40件以上60件未満 II 1【500】
	60件以上 III 1【300】	60件以上 III 1【300】
	【412】	【412】
居宅介護支援加算及び減算（内単位数）	中山間地域等小規模事業所加算【10%加算】	
	中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算【5%加算】	
	特定事業所加算 I【500】	
	特定事業所加算 II【300】	
	初回加算【300】	
	医療連携加算【150】（月1回限度）	入院時情報連携加算 I【200】（月1回限度）
		入院時情報連携加算 II【100】
	退院退所加算 I【400】	退院退所加算【300】（入院中3回限度）
	退院退所加算 II【600】	
	認知症加算【150】	
独居高齢者加算【150】		
小規模多機能型連携加算【300】		
	複合型サービス連携加算【300】	
	緊急時カンファレンス加算【200】（月2回限度）	
	運営基準減算【×50%】	
	（運営基準減算2ヵ月以上継続は算定不可）	

- 居宅介護支援の介護報酬は、全額介護保険の給付になり、利用者の一割負担はありません（第5期の改正時に利用者負担の導入について審議されましたが、見送られました）。
- 平成18年度から要支援が予防給付となり原則地域包括支援センターで予防プランをたてることになりましたが、平成21年からは地域包括支援センターが、本来業務に力を注ぐため、予防プランも居宅支援事業所に委託することがすすめられました。
- 平成18年度以降は保険者が指定する地域密着型の新しい事業（小規模多機能、複合型サービス等）が始まり、原則として居宅介護支援事業所のケアマネジャーのケアプランは不要で、直接事業所のサービスを受けます。
- 介護保険制度が生んだ新たな資格をもつケアマネジャーの報酬の考え方は、改正のたびに変わっています。即ちその専門性が確立できていないままに給付管理の側面が強化されています。地域密着型の新たな事業が増える中、これからはケアマネジャーの位置づけは流動化しそうです。

（編集：法人事務局 青木 志乃）

2012

スウェーデン視察研修報告

例年、現場実習をお願いしているスウェーデン・ヨーテボリ市の三つの財団の各施設に今年度は法人創設65年（平成23年度でしたが、東日本大震災により延期）の節目として視察研修を実施しました。

平成24年6月に来日され、法人各施設で認知症ケア、福祉機器活用等についてアドバイザーをいただいたアンキさん、ピアさんにも再会し交流を深めました。

また、ヨーテボリ市在住の友子ハンソンさんには、研修コーディネートおよび通訳としてご協力をいただきました。



改装中のヴェーガ・ハウス



歴史を感じるエングゴードバックケン



静かなたたずまいのオチウム



ピアさん、アンキさんと

生活・文化・福祉の仕組みに感じたこと

今回のスウェーデン王国ヨーテボリ市の三つの財団視察研修に参加する準備として、これまでの法人主催のスウェーデン研修で職員たちが多くの学び得た報告を読みました。そこで私は、個人の暮らしを築く上での福祉サービスのシステムをイメージして研修に臨みました。

ヨーテボリ市は、国内2番目の中心都市ですが人口50万人強（東京都八王子市に匹敵する人口）と日本の人口密度に比べ少なく、街の中心街にも人があふれている様子は見られず、ゆったりと暮らしているように感じました。

国民の負担（所得税32%、消費税25%）は大きいですが、その分福祉・教育への負担は小さいことから、一定の生活水準は保たれているようです。特に福祉政策は、日本では幾つもの法律を設けて縦割りの複雑さを感じていますが、スウェーデンでは人々の自己決定と人格の尊重に基づいた社会サービス法により個人の暮らしを大切にされた4つの福祉政策によって合理的で分かりやすく、行政のたらいまわしは決して起こらないことなのでしょう。

三つの財団では、高齢者の暮らしを支えていくうえで福祉の三原則となる

- ① 継続性の原則（暮らし）
- ② 自己決定の尊重
- ③ 残存能力の活用

を基本にしています。そしてこれを実践できるような職員の育成を教育プログラムに取り入れて継続的に行なっています。多摩同胞会の研修システムもこれに劣らないものと自負していますが、全職員に継続的に教育していることは見習わなくてはならないと感じました。

松崎 哲也



体位交換実習をピアさんから受ける武田



福祉機器を体験する松崎



友子さん、お世話になりました

誇れる日本の介護

今福 崇

今回、視察研修に参加できたことは自分にとって、とても大きな価値を生み出すことができました。スウェーデンといえば、空間の使い方・色の使い方・認知症ケアがとも充実しているという印象を持っていました。実際に高齢者住宅の見学・実習をすると自然な空間であり、家庭的で落ち着く雰囲気がありました。施設らしさがなく、備品（既製品）のような感じもありません。間接照明の使い方が上手だったり、壁紙やカーテンの色使い、あたたかみのある家具だったり、高齢者が『生活』することに視点を置いた配慮がありました。職員も自分も住みたいと思える環境づくりをしているということ、その気持ちはとても重要だと感じました。

認知症ケアでは、日本に來られたピアさんから話を伺うこと、実習で様子を拝見させてもらいました。ここでは、基本的な考え方は日本と同じというところに気づいたのと、認知症ケアは世界共通なのだと感じました。

今までスウェーデンのケアは、自分たちが行っていることのはるか上のサービスを提供していると思い込んでいましたが、今私たちが行っているケアは方向性は間違っていないし、利用者対応がきちんとできていることに自信を持ちました。



職員も過ごしたくなる空間でティータイムの今福



外の景色もとり入れた落ち着いた雰囲気です



宿泊したユースホステルでミーティング

スウェーデンの認知症ケア

高橋 誠

11月14日、メンバーは2班に別れエングゴードバツケンBハウスのCハウスで実習を行いました。

Cハウスは6階建。1ユニット8名から9名で構成され、51名の方が入居されています。入居されている方は原則65歳以上で前頭側頭型認知症または精神疾患がある方々です。入居者の多くは思い通りに過ごされる方がほとんどです。

前頭側頭型認知症の特徴として、同じ行動の繰り返しや気持ちのおもむくままの行動が目立つという点があります。それらを妨げられると暴力を振るうケースも少なくないようです。職員は入居者一人ひとりのことをよく理解されており、散歩を欠かさない人であれば中庭を一緒に歩く、逆に職員がいると落ち着かなくなる人には、その人に対して目を離さず、適切なタイミングで声をかけ誘導をしていました。

各居室は自由ですが共有スペースはテーブル位置やカーテンの色等、ディレクターのモニカさんとインテリアデザイナーで決定されており、ユニット内は鎮静効果があるといわれる青色を基調とした色使いをしていました。

職員の対応やユニットの生活環境が、精神的に不安定な方でも落ち着いて過ごしていただける、ということを実感した実習でした。

スウェーデンで学んだこと

武田 潤一郎

スウェーデンでは施設（高齢者住宅）がとても個人を大切にしているのにならぬので、研修に行く前は在宅にこだわりの強さは日本より薄いのではないかと漠然としたイメージを持っていました。ニーズ査定員の責任者の話やヘルパー利用者の意識調査によると誰でも自宅で暮らしたいと思っているし、あらゆることをしても在宅生活が無理な場合に施設（高齢者住宅）に行くとのことでした。考えてみれば順番は逆で、在宅生活でのその方らしい暮らしを大事にするからこそ、個を尊重した施設（高齢者住宅）の環境がある訳で、自分の迂闊さに気付かされました。

介護技術の細やかさ、自分の意見を主張しない謙虚な日本の高齢者から意向を汲んでいく丁寧な対応、在宅介護相談や発見・気づきのためのネットワークの重層的なシステムなどは十分に自信を持って良いと思います。

しかし個々の高齢者の生きてきた人生を思い、その人らしさを大事にする私たち一人一人の心がなければ全く意味がありません。それを学んだことが今回の研修の最大の収穫だったと思います。



エングゴードバツケンA棟のご利用者のお部屋にて



エングゴードバツケンB棟のご利用者（フィンランド出身）と



3つの財団の理事長（ディレクター）モニカ・バリルンドさん



入居者リリアンさん、職員ゼムゼムさんと松崎、竹元



ダイニングルームは青色が基調



エングゴードバツケンCハウス

食を通してスウェーデンを知る

竹元 昭子

今回の研修は、食事係として初めての参加となりました。過去の研修報告会で聞いていた限りでは「スウェーデンの食は簡素」というイメージを持っていましたが、3つの財団の食の捉えかたが

1. 食へる環境を大切に
2. 食事＝おいしいもの
3. 目で見て美味しそうと感じる（視覚で食べる）

ということを感じ、実際の食事をしっかり見ようと思いました。

高齢者住宅の食事は朝食夕食の他に、お茶の時間や夜食を設け、食事の回数を増やすことにより食べる機会を増やしています。どこかで食べられればよいという考えで、食事毎の喫食量の記録は見受けられませんでした。栄養士の役割（3つの財団に1人）として、体重の変化・食が進まない・栄養失調症のみ等で、食事が食べられない人への食事ケアを考え計画を立てています。日々の個別対応については、各施設の研究会メンバー（志願者から決定する）が中心となり、栄養士と連絡を取り合って対応していました。これもひとりひとりの高齢者の暮らしを職員が把握しているからと感じました。

在宅生活を支える食事としては、施設やデイサービスに地域の方も利用できるレストランが併設されており社会との接点の場を担い、ヘルパーや配食サービスが自宅に届ける事業もありました。

今回の研修では改めて日本の繊細さを感じ、食へることに限らず高齢者が暮らす環境としての学びは多く、物事を柔軟に捉える機会になりました。



サンダルナスデイセンターのレストラン



サンダルナスデイセンターの昼食



エングゴードバツケンCハウスの夜食の準備

スウェーデンの子育て

畑山 恭子

法人主催のスウェーデン研修に児童施設から初めて参加しました。財団から保育施設の見学を申し入れてくれたのですが、受け入れなかったとのこと。現場を見ることができなかったのは残念でした。

その代わりに通訳の友子さんが教えて下さいました。それは、子ども達に早い段階から「選択の自由」や「自己決定」の考え方を教えていくということです。また、日本とスウェーデンの「家族観」の違いが印象に残りました。スウェーデンでは父親も2ヶ月の育児休業を取得することが義務付けられていて、保育園の送り迎えをしたり、公園で遊んだりという父親の姿もたくさん見かけました。日本でも子育てに参加をする父親の姿は増えてきていますが、施策からしてみればまだまだ少ないと感じました。その他児童や子育てに関する施策や、保育のみならず児童福祉の全体像などについても学んでみたいと思いました。

日本の児童福祉の現場とは異なる感覚があることを実感し、どちらがよいということではなく、日本人の気質や伝統を大事にしながら、取り入れられるところを探っていくことが重要だと感じました。

写真コメント

- ① 保育施設 左手は自然の傾斜を生かした遊び場です
- ② 右手にある庭 暖かい格好をして子ども達が遊んでいました
- ③ 1階部分は保育施設 子ども達の作品も飾ってありました



岩本町ほほえみプラザ

（お問い合わせ先）

TEL 03-5825-3407

食の支援

岩本町ほほえみプラザでは施設で提供している食事を在宅の高齢者にも提供する3つのサービス事業に取り組んでいます。

1 訪問食事サービス

千代田区の事業としては配食サービスがありません。「岩本町ほほえみプラザ訪問食事サービス」は平成22年2月から開始しました。食事を届けるという形で在宅の高齢者の見守りを行ない、時に接触が困難なケースへのサービス導入を担い、時に虐待に発展しそうなケースの継続的な見守りの目となるなど、高齢者の在宅生活の維持・継続を側面から支援しています。見守りに重点を置いていることから、サービス提供区域をあんしんセンター神田（地域包括支援センター）の生活圏域である神田地域に限定しています。



ある日のお弁当

2 会食会

会食会は、現在かんだ連雀、岩本町ほほえみプラザの2箇所それぞれ2回ずつ行っています。かんだ連雀を会場に千代田区社会福祉協議会が行なっている、地域の支えあい・支援事業「はあとサロン」では、健康な食生活の確保が難しくなっている方や社会交流の機会が減ってきている方を対象に、平成23年11月から昼食の提供を始めました。「いつもはテレビを観ながら一人でぼそぼそ食べているの。こうやって誰かと一緒に食べられるのは嬉しい」「いつもコンビニの惣菜や冷凍食品で済ませることが多い。温かい食事で嬉しいし、肉や魚も食べやすく調理されている」と、参加者から好評をいただいています。



なごやかな食事時間

3 夕食持ち帰りサービス

岩本町ほほえみプラザのデイサービスをご利用の方で、夕食の確保が困難な方を対象にデイサービスの利用日の夕食を、お弁当にしてお持ち帰りいただけるサービスを平成24年12月から始めました。登録は事前申込制で、ご希望があった方（ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー）にサービスの説明を行ない、利用の同意書をお交わしして、サービスが開始します。夕食を外食していた方、ホカ弁や出来合いの惣菜で済ませていた方、同居されているご家族の帰宅が遅く、夕食を遅い時まで待っていた方など、幅広いニーズがあり、開始早々から多くの方にご利用いただいています。



夕食を持って帰ります



（二輪 美奈）

ひとつひとつ手作りします

施設だより



謹賀新年

新しい年を迎えて



平成25年になりました。各施設より今年のご目標や、一月ならではの行事などをお伝えします。

きずな

新年の喜び 感謝の気持ち

きずなでは、職員手作りの立派な門松を飾り、新年を迎えます。晴れた空に鮮やかな花の色が、良い年の始まりを物語っているようです。お母さん、子ども達からも元気な「明けましておめでとうございませう」の声をもらい、身の引き締まる思いで新年を迎えました。

1月1日には、新年会が行われました。皆様お寿司やおしるこを食べて、新しい年を元気で過ごせることを願いました。そして、チームに分かれてのゲーム大会。勝利チームから順番にくじを引いて、景品の福袋をもらいます。

新年のちょっとした運だめしのようで、大人も子どももワクワクします。この福袋には、毎年たくさん頂く寄贈品の数々が入っています。日用品からおもちゃまで、皆が喜ぶ物ばかりです。寄贈品は新年会だけでなく、日々届けて頂く度に、皆さまにお配りしています。「嬉しいわ、たくさんあって嬉しい！」との声を聞き、寄贈をお寄せ下さる方々にこの場をお借りして、感謝申し上げます。

きずなは今年も多くの方々に支えられる事と思えます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

（母子支援員 浦上 さわ）



緑苑

新年を迎えて

緑苑で働いていると生活の中で新年を目で、そして心で感じる事ができます。

正面玄関の門松は職員が竹を取りに行くことから始まり、形作っていきますが、そこに挿す花は信愛寮のご利用者がアレンジします。寒い中を頑張って活けていただき本当に頭が下がります。

また、信愛寮では寄付などいただいたカレンダーを年末に抽選で配ります。「あなた、もう抽選に行った？カレンダーを配っているわよ」と、お隣さんに声を掛け合いながら地域交流スペースに集まります。「どんなのが当たった？あら素敵ね」・・・年に一度の光景です。

毎年1月1日の新年祝賀会は、特養と合同で総勢140名の方が一堂に会しました。皆で「1月1日の歌」を歌い、気分も新たに感じる時でもあります。

続いて2日は初釜。お茶を点てる職員は、着物を着て気分盛り上げます。抹茶と干菓子でほっと一息、心が和みます。恒例の新年会では、ご利用者が大正琴を演奏します。発表に向け、利用者も練習に熱が入ります。練習中は、皆さん息を合わせる事に集中し真剣そのものです。

今年1年元気に過ごし、変わらない年越しを皆さんと一緒にできますように！

（信愛寮支援員 西林 昌子）



たっち

あたらしい遊びに チャレンジ

「おはつ。」「ごんごんは。」「の挨拶が「あけましておめでとうございませう」となる年始。練習をしたのか…背筋を伸ばし、頭を下げて挨拶をする子どもたちの姿は可愛らしいだけでなく初々しく新鮮です。年始の挨拶は自然と気持ちが引き締まり丁寧な挨拶になります。お正月遊びをする機会も減っていますが、保育室では独楽回しが密かに流行しています。指の使い方や力の入れ具合など、回すにもコツがいりますが、子どもたちは輪投げの輪やブロックなど身近で回るものを探しています。



(リフレッシュ保育担当 山中 有佳)

新しい年には、新しい遊びを見つけたら新しいものにチャレンジして経験を増やしていきたいです。

しらとり

2013年の 目標

冬休みに入りいよいよ年末となった時のこと。しらとりの学童たちと2013年の目標を立てることにしました。

いつも、目の前のことに一生懸命な子ども達は目標という言葉に戸惑いつつも、皆思い思いの言葉を書いてくれました。小学3年生のMちゃんの場合は、「忘れ物をしない」です。中学年ということで、学校の用意も自分でしているようですが、1、2学期は忘れ物が多くお母さんからゲーム禁止令が出てしまったそうです。ゲームができないことに加え、頑張った宿題を持って行くのを忘れたこともとてもショックだったとのことでした。目標が達成できるように私も応援したいと思います。



(しらとりの学童担当 萬 友希子)

あつという間に過ぎたように感じる2012年でしたが、子ども達の成長を感じた瞬間がたくさんありました。2013年も楽しく元気に過ごせますように。

連雀

一年の始まり

皆様はお正月をどのように過ごされましたか？おせちやお雑煮を頂いた方、初詣に行かれた方、寝正月だった方もいるかもしれませんね。かんだ連雀の元旦は、まず新年会そして午後は書初め大会を行いました。それ以外にも、お正月の遊びをして過ごし、新年の雰囲気味わいました。



(介護員 滝 幸恵)

5階フロアでは、職員手づくりの「福笑い」をして盛り上がりました。一見簡単そうに見えて、やるとなかなか難しい。ご利用者も職員も、周りの声援に添えて一生懸命に顔を作るも、どれも面白い顔になってしまい、皆で大笑いしました。「笑門には福来る」と昔から言われており、新たな年に、たくさんさんの笑い声に包まれた連雀には、多くの福が訪れることは違いないと感じております。

あさひ苑

新年の行事

入居しているお年寄りにとって、新年の最初に行う行事が『新年祝賀会』です。

あさひ苑では、2階・3階の階ごとに、元旦に新年のご挨拶を行いました。『今年一年何も無く無事に、そして良い年になりますように！』と願いを込めました。元旦、朝早く起きて初日の出を見て新年をお祝いしている方、洋服を新調する方、お化粧する方と色々な方がいらっしゃいます。その光景を見ると、新しい年の始まりで身の引き締まる思いとなります。



(介護員 岸 千陽)

私の今年一年の目標は、『目配せ気配せ！』です。皆さんが安心して1年を過ごして頂けるように、頑張りたいと思います。

岩本町

手作りの「おせち」

一年があつという間に終わり、また新しい年が始まりました。昨年の12月は「師走」という名の通り、本当に駆け足で過ぎていきました。

厨房では12月の「忘年会」が終わると、新年用の皿の準備とおせち料理の用意が始まります。「黒豆」は乾燥した豆を一晩水で戻すところから始まり、「なます」は大根を包丁で千切りに、「煮しめ」は人参を梅の型で綺麗に仕上げ、椎茸は味が染み込むように飾り包丁を一つ一つに入れ作りました。



(管理栄養士 田尻 早季子)

おせち作りは一年一度の事で普段よりも気合が入り緊張します。しかし、利用者の方々の喜ぶ顔を見ると、こちらも嬉しくなりとてもやりがいがあります。今年のおせち料理の感想をご利用者に何うと

「すごい綺麗！」
「美味しいわぁ」
などの好評を頂くことができました。
今年ももっと、毎回のお食事をご利用の方々に喜んでいただけるよう、一層精進します！！

泉苑

食文化を大切に

お正月の食べ物といえば、おせち料理とお雑煮です。お雑煮に入る「餅」は昔から日本人にとってお祝い事や特別の日に食べる「ハレ」の食べ物です。皆さん、お餅を楽しみにしていますが高齢になると、噛む、飲み込む力が弱くなり、お餅を食べることが難しい方もいらっしゃいます。

ご利用者が安全に食べられるように、泉苑ではもち米から作った「やわらかもち」を提供しています。もち米でお粥を炊き、ミキサーにかけて餅の粘りを分解する酵素の入ったゼリーの素で固めます。ゼリーといっても固まる温度が高いのでお雑煮のような温かい料理も提供できます。見た目も良く、安全で、美味しいと評判も良く、私たちの自慢の料理の一つです。



(管理栄養士 親泊 美輝子)

いつまでも食事を楽しみにしていただくために、今年も日本の食文化を大切に、工夫をして食事を提供していきたいと思えます。

ニュース

うらら多磨診療所 からのお知らせ

高齢者住宅うらら多磨には医療法人社団和風会うらら多磨診療所が併設されています。訪問診療、往診もありどなたでもご利用できます。

■診療時間

(祝日の際は休診となります)
火曜日 14時～18時
水曜日 14時～18時
土曜日 9時～13時・14時～18時

■診療科目

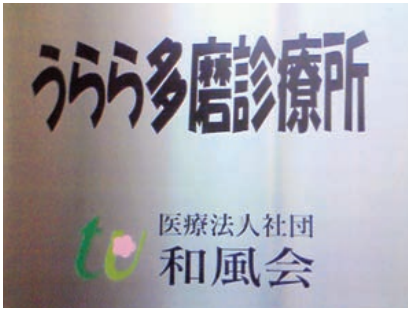
(薬は院外処方です)
内科・外科

■院長 伊藤尚真先生

(いとうなおと先生)

■住所

東京都府中市多磨町2-56-12
TEL 042-319-1828
FAX 042-319-1827



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

浅川医院 あさひ苑家族会 石井宏 伊藤忠テクノソリューションズ 上野恒章 (株) 宇津救命丸 江田廣子 大沢良三 (株) K C J G R O U P 国際ソロプチミスト東京一府中 財団法人熊崎恩財財団 財団法人東京都人材支援事業団 社会福祉法人 東京福祉会 高橋俊子 千春保育園 東京都食肉生活衛生同業組合多摩南支部 (株) 東興工業 永井文子 藤澤眞 母子寡婦ちどり会 ボランティアアクトクラブのぞみ 緑町一丁目自治会 栗林正昭 吉田ヒサ子 渡辺真理子 (2012年10月・2012年12月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 青山幸子 赤林好子 浅野貞子 網代弘子 荒波智子 荒畑海里 有本陽子 飯塚喜彦子 伊来 富美子 井口マ 囲碁を楽しむ会 石井悦子 石井 忠男 石井久子 石井宏 石坂友子 石澤圭子 石坂 勝世 市川アイ子 市川知子 市川尚子 井上真左子 井踏世津子 岩佐和栄 岩崎順 岩崎敏信 上原智 美 植松八千代 魚川桂子 鶴澤シヅ 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 梅村治代 上床晃代 S M S 遠藤 伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 王雅瓊 大久保峯子 大倉弘子 大島庸子 大塚沙恵 大野典子 大野文子 大室千里 小笠原知美 岡田智子 岡田基子 岡野 玲子 岡裕子 小川健治 小川浩一 荻野和子 小熊 美和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 小倉道子 オコサの会 尾崎節子 尾崎紘之 尾崎靖宣 尾崎 ヨシ子 小澤末子 小貫良子 おはなし夢クラブ 尾山由美子 折田浩一 海江田紀久子 笠間豊子 鹿島 千重子 鹿島キチ 梶山アサミ 柏山和子 片桐キミ子 片山貴美子 カットサロンアベ 加藤紀久代 加藤静 加藤規子 加藤美美子 加藤洋子 金澤静江 金澤富久子 金子武仁 鎌田竜治 上沢美和子 上床 晃代 亀岡紀知信 川崎綾子 川邊明子 神田由紀子 菊地敦子 岸波えり 北島美恵子 北村よしこ 木 森哲 國定毅 久保田摩耶子 熊谷ジュリエッタ 蔵 内睦子 栗原宏子 桑原侑子 苅間まさ 小石咲子 小泉純子 小泉美世子 小出農一 小出由美子 小岩 井雅人 河野トシヨ 越川幸子 小島ユミ子 小島百 合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林久恵 小林真弓 小林美代子 古山フジ子 是永美代子 紺野和子 今 野幸子 ザ・ボディショップ 斎藤孝子 斉藤ヨシ子 佐伯美智子 酒井和子 坂井香奈絵 坂本越子 坂 本佳奈子 坂本文子 佐久間桂子 櫻井正治 佐々木 英子 佐々木真由紀 佐々木真理子 佐藤英子 佐藤 公子 佐藤敬子 佐藤妙子 佐藤直美 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤ミドリ 佐野田鶴子 澤良子 塩澤佳 津子 塩田りさ 重田文子 品田啓子 渋谷好子 ジ ブラルタ生命 清水文枝 清水美砂子 清水庸子 下 江美鈴 下中恵美子 下宏子 進藤サエ子 進藤理子 杉本節子 杉山恵子 鈴木アキ子 鈴木暉子 鈴木 好枝 鈴木嘉子 スターバックスコピー 浅間の森 ハンドベルの集い 蘭田澄子 高井汪子 高澤和美 高鍋恵子 鷹野榮子 高橋恭子 田口裕香 竹内由美 子 竹松ふく 湛啓子 湛啓子 辰本ケイコ 田中久 美子 田中幸子 田中智加子 田中ヒサ子 田中翠 谷口顕太 田部美智子 玉井榮子 多摩スマイル吹奏 楽団 丹野由紀子 千葉芳子 寺町律子 東郷實枝子 戸島正子 柄谷さき 富田和代 富田秀子 中下秀 子 長島広美 永峯怜子 中村紀久子 中村清美 中 村フサ子 中村美佐江 中村恭俊 中山康 那須史子 西久保長子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野坂 昭弘 野坂いく世 萩原八枝 橋場昭 橋本巖 羽鳥 みのる 濱田真理奈 林由美子 羽山直子 原 恭子 原田閑彦 原田まち子 原田康子 樋口淳子 樋口 雅子 樋口よし子 肥後住江 久光製菓 尾藤智子 平泉順子 平澤みどり 平田敦子 平野恵子 広木き く江 福田佐代子 藤記節子 藤田裕二 府中市立朝 日保育所 船岡栄子 舟久保良子 舟見三佐子 古林 泉 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野ユキエ 星野若佐 堀田武三郎 堀切重明 本田純子 本田ひ ろみ 前田宗治 前田玉代 孫田一昭 政所優季 町 田知行 松浦良枝 松尾和枝 松澤通子 松田恵子 松野アイ 松本直恭 丸田のぶ子 丸田のぶ子 三浦 香織 三坂和子 三井淑子 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 宮崎嘉子 宮下美智子 明神淑恵 村井福 子 村野豊子 目々澤美智子 望月友子 百瀬洋子 森満隆文 森脇敦子 八重の会 谷貝祥子 安井忠昭 山下優子 山田一九 山田佳津江 山田ケイ子 山 田順子 山本博子 山本峯子 鐘溝千寿子 ゆうかフ ァミリー 横山年子 吉木京子 吉田恒雄 米山秀子 辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡辺久代 渡辺秀雄 渡 邊弘子 渡邊房子 渡部守 渡部雄太 (2012年10月・2012年12月)

編集後記

今年も始まったかと思うともう2月。1年経つのが年々早くなる気がしています。充実している証拠ですね。(あさひ苑 比嘉敦恵)

趣味はスキーです！寒い日が続くと、ゲレンデに雪が積もるように願ってしまいます。(あさひ苑 片淵誠)

私は巳年生まれなのでわくわくしていますが、12年前はたしか平凡でした。(泉苑 小柳忠幸)

1シーズンに何度か降る東京の雪。積もるとやっかいがられる存在ですが、私はワクワクして不用意に出歩きます。(泉苑 岩淵研哉)

秩父に行ってみました。見上げると吸い込まれそうな満天の星空に感激。耳が痛いほど寒かったですが心はホクホクです。(緑苑 西林昌子)

今年のは年男、仕事でも私生活でも輝かしい一年になるよう頑張りたいと思います。(かんだ連雀 浅見達也)

今年のは年男、仕事でも私生活でも輝かしい一年になるよう頑張りたいと思います。(事務局 青木志乃)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで！

●泉苑 0120-6540-24 老後支援 24時間
●あさひ苑 0120-2942-24 福祉にっこり 24時間



多摩同胞会のホームページを携帯でもどうぞ！